

☞ 亜細亜大学

「日本経済の課題と展望—人口減少下でも国民が輝く国を目指して」

コーディネーター：茨木 秀行（経済学部教授） 高橋 淳一（経済学部講師）

曜日・時間：月曜日（全13回）午後3時15分～5時

内容：1990年代のバブル崩壊以降、経済政策の最重要課題の一つとされてきたデフレ経済からの脱却が視野に入りつつあるが、そのトンネルの先には、より困難な構造的な課題が山積している。急速に進む少子高齢化、グローバル化の進展と変質、デジタル化や脱炭素化への対応などの課題に適切に対応し、包摂的で持続可能な経済成長を実現していかなければ、長期的には、日本経済は様々な経済・社会サービスの水準を維持することすら難しくなる。かつて、日本の経済システムは、終身雇用による「人」を中心にした経営で、高い経済成長と格差の少ない社会を実現し、世界から賞賛された時期があったが、現在では、企業のパフォーマンス、雇用の質、所得再分配、イノベーションなど様々な面で綻びが目立つようになっている。また、日本はこれまで格差の少ない社会を構築してきたが、現在では雇用保障のない非正規雇用が大きな割合を占めるようになり、そうした労働者はセーフティネットでも十分カバーされず、相対的貧困率も先進国の中で高い水準になっている。こうした日本経済の諸課題に関して、経済・金融の各分野の専門家・実務家を迎え、日本経済の現状認識と今後の対応の方向性について話を伺う。その上で、今後人口減少がさらに進む中でも、国民が仕事のやりがいや生活することに満足感を得られ、輝くことができる社会の実現に向けた方向性を参加者とともに検討する。

回	月日	テーマ	講師
1	10/6	講義のガイダンス	茨木 秀行（経済学部教授）
2	10/13	日本経済のこれまでの歩みと展望	小峰 隆夫（日本経済研究センター研究顧問、大正大学客員教授）
3	10/20	日本の政策決定の問題点	大田 弘子（政策研究大学院大学学長、元経済財政政策担当大臣）
4	10/27	DX時代の日本企業の課題と展望	柳川 範之（東京大学大学院経済学研究科教授）
5	11/10	金融システムの課題と展望	政井 貴子（SBI金融経済研究所取締役理事長、元日本銀行政策委員会審議委員）
6	11/17	人的資本経営を考える	鶴 光太郎（大妻女子大学データサイエンス学部教授）
7	11/24	カイシャ資本主義の行方	茨木 秀行（経済学部教授）
8	12/1	物価問題と日本経済	渡辺 努（ナウキャスト創業者・研究顧問、東京大学名誉教授）
9	12/8	社会保障と民主主義	権丈 善一（慶應義塾大学商学部教授）
10	12/15	日本の生産性とその課題	森川 正之（RIETI特別上席研究員、機械振興協会経済研究所長）
11	12/22	日本の経済財政政策の課題	田和 宏（日本総合研究所顧問、前内閣府事務次官）
12	1/5	今後の日本経済が目指すべき方向性	茨木 秀行（経済学部教授）
13	1/19	講義の総括	茨木 秀行（経済学部教授）

☞ 当選が決定した方の提出物 【提出期間：8月5日（火）～18日（月）】

当選者には、8月5日ごろ提出方法など詳細を郵送でご案内いたします。

ご案内を確認のうえ、上記提出期間中に武蔵野プレイス3階自由大学事務局へお持ちください。

・資料代…各大学5,000円（必要書類提出時に、武蔵野プレイス3階自由大学事務局でお支払いいただきます。）

・受講同意書…抽選結果通知に用紙を同封します。

・健康診断書…1大学につき1部（コピー可）、自治体で行われる健康診査でも結構です。

【必須項目】①受診者氏名、②受診日（令和6年8月1日以降のもの）、③胸部レントゲン検査結果（フィルム不要）、④医師の総合所見（成蹊大学のみ必須）、⑤医療機関名

・証明写真…1大学につき1枚（受講証明用。ただし、成蹊大学・東京女子大学は写真不要。スナップ写真不可。武蔵野大学は白黒写真不可（カラーのみ）。サイズ等詳細は当選のご案内でご確認ください。）

※健康診断書（結果票）は、受診してから結果がお手元に届くまである程度日数を要します。上記受診日以降の健康診断書がお手元に無い方は、お早目に受診いただきご準備ください。また、証明写真・健康診断書等、受講手続きに要する費用は、受講者の負担となります。

令和7年度後期 武蔵野市寄付講座

市の寄付によって、大学が開設する特設講座です。後期は、亜細亜大学・成蹊大学・東京女子大学・日本獣医生命科学大学・武蔵野大学の5大学で開講します。各大学の講座内容や日程などご確認のうえ、お申込みください。

● 亜細亜大学「日本経済の課題と展望

—人口減少下でも国民が輝く国を目指して—

コーディネーター：茨木 秀行（経済学部教授） 高橋 淳一（経済学部講師）

日時：10月6日～令和8年1月19日月曜（全13回）午後3時15分～5時

● 成蹊大学「インフレ時代の資産形成」

コーディネーター：俊野 雅司（経営学部特任教授）

日時：9月30日～令和8年1月13日火曜（全14回）午後4時50分～6時30分

● 東京女子大学「文化保全の国際的取り組み

—つながりと格差の文化人類学—

コーディネーター：小田島 理絵（現代教養学部特任准教授）

日時：9月23日～令和8年1月13日火曜（全15回）午後2時55分～4時25分

● 日本獣医生命科学大学「食文化論」

コーディネーター：小林 優多郎（応用生命科学部講師）

日時：10月7日～12月23日火曜（全11回）午後1時～2時40分

● 武蔵野大学「みんなが幸せな世界を創る

『ウェルビーイング学』入門

コーディネーター：前野 隆司（ウェルビーイング学部学部長）

日時：9月24日～令和8年1月14日水曜（全14回）午後4時50分～6時30分

・講師・日程・テーマ等が変更になる場合があります。ご了承の上お申し込みください。また、講座の詳細は、自由大学通信 Vol.87、武蔵野地域自由大学ホームページ、武蔵野プレイスホームページでもご覧いただけます。

・武蔵野地域自由大学ポイント付対象講座です。4分の3以上の出席（受講）で、1ポイントが付与されます。

▶ 募集要項

●対象：18歳以上で武蔵野市内在住・在勤・在学の方および武蔵野地域自由大学学生

●定員：各大学50名（超えた場合は抽選）

●費用：各大学5,000円（資料代）

●申込方法：以下の①～④のいずれかの方法でお申し込みください（自由大学学生以外の方は①～③）。

①ハガキに〔希望大学名、住所、氏名（フリガナ）、電話番号、生年月日、武蔵野市在勤・在学の方は勤務先・学校名、自由大学学生は学籍番号〕を明記のうえ、自由大学事務局「寄付講座」係へ郵送

②直接武蔵野プレイス3階自由大学事務局窓口にて申込み

③「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」より申込み

（URL: <https://yoyaku.musashino.or.jp/mnet/web/index.jsp?MODE=2>）

※武蔵野市在勤・在学の方は勤務先・学校名を備考欄に明記してください。

※インターネットで申込みの場合、抽選結果は各自申込サイトでご確認ください。

④自由大学学生の方は、自由大学事務局へ電話で申込み可（0422-30-1904）

申込みはこちら



● 申込期間：6月27日（金）～7月24日（木）必着

● 抽選結果公開：8月5日（火）～各大学初日 ※当選者には結果通知を郵送します。

お申込時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約及び教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。

📖武蔵野大学「みんなが幸せな世界を創る『ウェルビーイング学』入門」

コーディネーター：前野 隆司（ウェルビーイング学部学部長）

曜日・時間：水曜日（全14回）午後4時50分～6時30分

内容：2024年4月、武蔵野大学に世界初のウェルビーイング学部ウェルビーイング学科が発足しました。ウェルビーイングとは、幸せ、健康、心と体の良い状態のことです。本学科では、科学や哲学を基盤にして、世界中の人類や動植物が幸せな世界を構築するための新しい学問を展開しています。ウェルビーイング学科には、工学、理学、哲学、宗教学、心理学、社会学、対話、コーチング、教育学、経営学、経済学など、さまざまな学問を基盤にウェルビーイング学を深める教員が集まっています。本講座では、14名の教員がオムニバス講義を行い、多面的な学問ウェルビーイング学について概説します。新しい学問ウェルビーイング学の新風をぜひお楽しみください。

回	月日	テーマ	講師
1	9/24	開講式 オリエンテーション みんなが幸せな世界を創る「ウェルビーイング学」とは！？	小西 聖子（学長、教授） 前野 隆司(ウェルビーイング学部学部長、教授)
2	10/1	東洋思想が示すいのち	下田 正弘（ウェルビーイング学部教授、武蔵野大学仏教文化研究所長）
3	10/8	「ウェルビーイングの哲学」入門	一ノ瀬 正樹（ウェルビーイング学部教授、武蔵野大学図書館長）
4	10/15	ブータンに学ぶ生き方の根っこ	西本 照真（ウェルビーイング学部教授）
5	10/22	人と社会のつながりとウェルビーイング	菅原 育子（ウェルビーイング学部教授）
6	10/29	助け合いとウェルビーイング	吉野 優香（ウェルビーイング学部講師）
7	11/5	思いやりとウェルビーイング	秋山 美紀（ウェルビーイング学部学科長、教授）
8	11/19	共に生きるためのウェルビーイング	楠 聖伸（ウェルビーイング学部講師）
9	11/26	ウェルビーイング教育を実現する3つのポイント	浦谷 裕樹(ウェルビーイング学部准教授)
10	12/3	「対話」を通じてつながる世界	中村 一浩(ウェルビーイング学部准教授)
11	12/10	一次産業×ワーケーション＝ウェルビーイング－ これからの生き方・働き方のススメ－	島田 由香（ウェルビーイング学部教授）
12	12/17	ウェルビーイング介護とは？	グスタフ ストランデル（ウェルビーイング学部教授）
13	1/7	ひとと地域の幸せを高める「幸せのおカネ」のつくり方	保井 俊之（ウェルビーイング学部教授）
14	1/14	自然環境とウェルビーイング 閉講式	山田 博（ウェルビーイング学部教授） 小西 聖子（学長、教授）

📖成蹊大学「インフレ時代の資産形成」

コーディネーター：俊野 雅司（経営学部特任教授）

曜日・時間：火曜日（全14回）午後4時50分～6時30分

内容：これまでわが国では、バブル崩壊後、長期間にわたってゼロインフレ（もしくはデフレ）の時代が続いていた。2022年2月に開始されたロシアによるウクライナ侵攻後、数％程度のインフレが発生しており、今後もこのトレンドは継続するとの見通しも出ている。このような環境下、預貯金を中心とした資産形成を続けていくと、インフレによる金融資産の実質価値の目減りが懸念される状況が生じている。本講座では、このような観点から、各分野における有識者によるオムニバス形式での講義を通じて、年金制度や証券市場・証券投資に関する基礎知識を理解するとともに、資産形成のあり方についてご一考いただく機会をご提供することを主な目的とする。

回	月日	テーマ	講師
1	9/30	イントロダクション	俊野 雅司（経営学部特任教授）
2	10/7	日本経済の動向とインフレの背景	門間 一夫（みずほリサーチ&テクノロジーズ エグゼクティブエコノミスト）
3	10/14	新NISAとインフレで様変わりした日本経済株式市場	木野内 栄治（大和証券株式会社チーフテクニカルアナリスト兼テーマリサーチ担当ストラテジスト、明治大学政治経済学部兼任講師）
4	10/21	日本の社会保障制度	内藤 朋枝（経済学部准教授）
5	10/28	投資信託の全体像と活用方法	俊野 雅司（経営学部特任教授）
6	11/4	企業年金の資産運用	三田部 充（大和ファンド・コンサルティング フェロー）
7	11/11	マネープランとファイナンシャルプラン	亀谷 さおり（経営学部非常勤講師）
8	11/18	企業価値の向上と資産形成	前原 康宏（日本証券アナリスト協会 シニア・アドバイザー）
9	11/25	フィンテック	伊藤 敬介（経営学部教授）
10	12/2	資産選択の意思決定	時岡 規夫（経営学部教授）
11	12/9	高成長企業の特徴と見分け方	伊藤 克容（経営学部教授）
12	12/16	行動ファイナンスと資産運用	俊野 雅司（経営学部特任教授）
13	12/23	日本人の投資行動	西出 陽子（名古屋商科大学客員教授）
14	1/13	講座全体のまとめ	俊野 雅司（経営学部特任教授）

📖東京女子大学「文化保全の国際的取り組み―つながりと格差の文化人類学―」

コーディネーター：小田島 理絵（現代教養学部特任准教授）

曜日・時間：火曜日（全15回）午後2時55分～4時25分

内容：世界の共通目標である持続可能な発展の実現のためには、文化の保護・保全は重要な課題の一つとなっている。この授業では、文化保護・保全に関する国際連合の動向をふまえながら、社会経済的圧力に対して脆弱性を抱える諸文化社会において、持続可能な発展の実現に資する文化保全がいかなる状況にあるのかを実例から学ぶ。そうした諸文化社会において、次世代が文化的知識や知恵を享受し継承していくうえでの課題、文化保全活動上の南北間格差がいかに生じるのかを考えていく。

回	月日	テーマ	講師
1	9/23	イントロダクション 授業の目的、概要	小田島 理絵 （現代教養学部特任准教授）
2	9/30	第一部(1)戦後世界と持続可能な開発／発展	
3	10/7	第一部(2)開発と遺産保護：世界遺産条約へ至る経緯	
4	10/14	第一部(3)文化保護における南北格差(1)無形文化遺産の誕生	
5	10/21	第一部(4)文化保護における南北格差(2)遺産の多様化	
6	10/28	第一部(5)文化保護における南北格差(3)持続可能性と遺産の保護の意義	
7	11/4	第二部(1)事例としての東南アジア：遺産保護の経緯と遺産の観念	
8	11/11	第二部(2)ラオス(ルアンパバーン)LDCsと文化観光	
9	11/18	第二部(3)ラオス(チャムパーサク)LDCsと遺産マネジメント	
10	11/25	第二部(4)タイ(バンコクとイサーン)伝統のあり方と見方	
11	12/2	第二部(5)カンボジア(シアムリアップ)平和維持と文化遺産保護	
12	12/9	第二部(6)シンガポールとマレーシア(1)多文化国家の形成と二つの遺産	
13	12/16	第二部(7)シンガポールとマレーシア(2)多文化国家、近代化、文化遺産保護	
14	1/6	第二部(8)日本 文化財と遺産：保護と活用	
15	1/13	総まとめ	

📖日本獣医生命科学大学「食文化論」

コーディネーター：小林 優多郎（応用生命科学部講師）

曜日・時間：火曜日（全11回）午後1時～2時40分

内容：「食文化」の学問領域は、食物の生産から人の胃袋に入るまでの、食生活全般に及び、食に関するあらゆる文化面を対象としている。本年は、第二次世界大戦中のオランダ首都アムステルダムで「隠れ家」生活を送ったアンネ・フランクが記した『アンネの日記』を教材として取り上げる。

回	月日	テーマ	講師
1	10/7	『アンネの日記』成立経緯	小竹 佐知子 (応用生命科学部教授)
2	10/14	アンネパパの職業	
3	10/21	ドイツ軍のオランダ侵攻	
4	10/28	「隠れ家」食糧のストック状況と品質	
5	11/11	1942年の「隠れ家」の食卓	
6	11/18	ユダヤ教の会派	
7	11/25	「隠れ家」のユダヤ料理	
8	12/2	ユダヤ教のお祭り	
9	12/9	「隠れ家」内のキリスト教要素	
10	12/16	「隠れ家」のオランダ料理	
11	12/23	「隠れ家」のその後	